

分子技術、新ステージへの胎動

～ 科学・技術として今、期待されることは ～

日時 平成22年 9月16日(木) 13:00～18:20
会場 2010年秋季 第71回 応用物理学会学術講演会会場
長崎大学文教キャンパス 中部講堂 (NA会場)

参加費 無料 (応用物理学会の非会員の方でも、どなたでもご参加可能)
※本シンポジウム以外の講演会を聴講される際は、講演会総合受付にて参加費のお支払いをお願い致します
申込 事前登録不要 (当日直接会場へお越し下さい)
お問合せ JST 研究開発戦略センター 永野智己 ttagano@jst.go.jp

コーディネーター: 工藤一浩 (有機分子・バイオエレクトロニクス分科会幹事長、千葉大学)

プログラム

■ 13:00～13:40 司会 工藤一浩 (千葉大学 教授)

1 13:00～13:20 分子技術コンセプト「技術俯瞰における分子技術の多面性」 16p-NA-1
曾根純一 (物質・材料研究機構 理事、JST-CRDS 特任フェロー)

2 13:20～13:40 分子性・合成分子技術・分子技術イニシアティブ 16p-NA-2
村井眞二 (奈良先端科学技術大学院大学 理事・副学長、JST プラザ大阪 総館長)

■ 13:40～15:10 司会 曾根純一 (物質・材料研究機構 理事、JST-CRDS 特任フェロー)

3 13:40～14:10 光との相互作用、光・磁性制御の分子技術 16p-NA-3
大越慎一 (東京大学 教授)

4 14:10～14:40 バイオとエレクトロニクスの融合を実現する分子技術 16p-NA-4
田畑 仁 (東京大学 教授)

5 14:40～15:10 印刷法で作製する有機デバイス
一切った貼ったのフォトリソプロセスからオンデマンドプロセスとしての印刷技術ー 16p-NA-5
八瀬清志 (産業技術総合研究所 研究部門長)

■ 15:10～15:30 休憩

■ 15:30～16:30 司会 八瀬清志 (産業技術総合研究所 研究部門長)

6 15:30～16:00 分子技術に基づくエネルギーデバイス応用 16p-NA-6
早瀬修二 (九州工業大学 教授、JSTさきがけ 研究総括)

7 16:00～16:30 分子技術に基づく新機能デバイス創成ー分子スピントロニクスー 16p-NA-7
多田博一 (大阪大学 教授)

■ 16:30～18:00 司会 川合知二 (大阪大学 教授、JST-CRDS 特任フェロー)

8 16:30～17:00 分子技術に基づく有機トランジスタ 16p-NA-8
工藤一浩 (千葉大学 教授)

9 17:00～17:30 分子技術に基づく感性バイオセンサー 16p-NA-9
都甲 潔 (九州大学 主幹教授・研究院長)

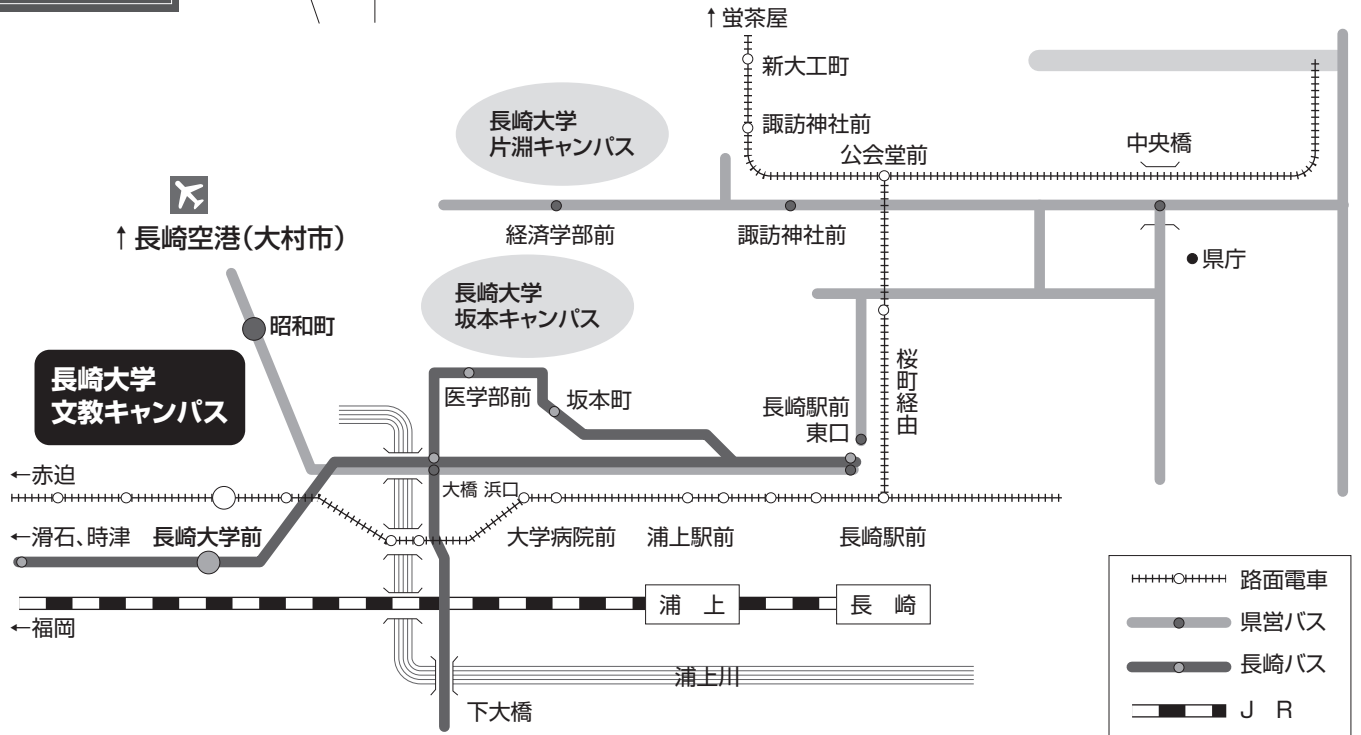
10 17:30～18:00 分子技術と有機エレクトロニクスの将来展望 16p-NA-10
筒井哲夫 (九州大学 名誉教授、JSTさきがけ 研究総括)

■ 18:00～18:20 共同司会 工藤一浩、曾根純一

11 18:00～18:20 ショートパネル 16p-NA-11 工藤一浩、曾根純一、他

環境・エネルギー・生活・持続可能社会の課題に向け様々なアプローチがなされているが、本シンポジウムでは異分野の技術領域が融合する新たな技術の方向性・流れとして「分子技術」を取り上げる。物理・化学・生物の諸学術分野および先端的生産・製造技術とを融合させ、さらに社会との接点へ展開するとき、そこには新しい語「分子技術」で表現される広大な未知領域が描かれる。Molecular Technology。これを、国の基盤となる一大技術集積とし、将来の環境・エネルギー・生活の諸課題に備えることが大きな目標となる。諸外国ではまだ積極的に意識されていないこの目標を、世界に先駆け抽出し議論を深めることがこのシンポジウムの目的である。

アクセスMAP



- JR長崎駅から
路面電車
「長崎駅前」(赤迫行き)→「長崎大学前」下車
長崎バス
「長崎駅前」(1番系統「溝川」,「上床」,「上横尾」行き)→
「長崎大学前」下車
- JR浦上駅から
路面電車
「浦上駅前」(赤迫行き)→「長崎大学前」下車
長崎バス
「浦上駅前」(1番系統「溝川」,「上床」,「上横尾」行き)→
「長崎大学前」下車
- 長崎空港から
県営バス
「長崎空港4番のりば」(昭和田・浦上経由長崎方面行き)→
「昭和田」下車→徒歩